

2012年度 ベンチャーキャピタル等投資動向調査結果

(速報)

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

2012年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査の結果(速報)を取りまとめましたので、お知らせいたします。

当調査は、2011年4月から2012年3月末までの期間のベンチャーキャピタル(VC)による投融資状況について調査を行ったもので、2012年8月から2012年10月までの調査期間に100社から回答を得ました。

《概要》

2011年4月から2012年3月までの間に行われたベンチャーキャピタルによるベンチャー企業への投融資額は1,240億円、投融資先は1,017社であった(前年度1,132億円、915社)。(図表1)

本調査において投融資額は2006年度の2,790億円をピークに3年連続減少、特に2009年度は1,000億円を割込む低調ぶりを示した。2010年度には若干回復したものの、2011年度においては前年度とほぼ同等の結果となり、いまだ緩やかな回復途上の状況である。

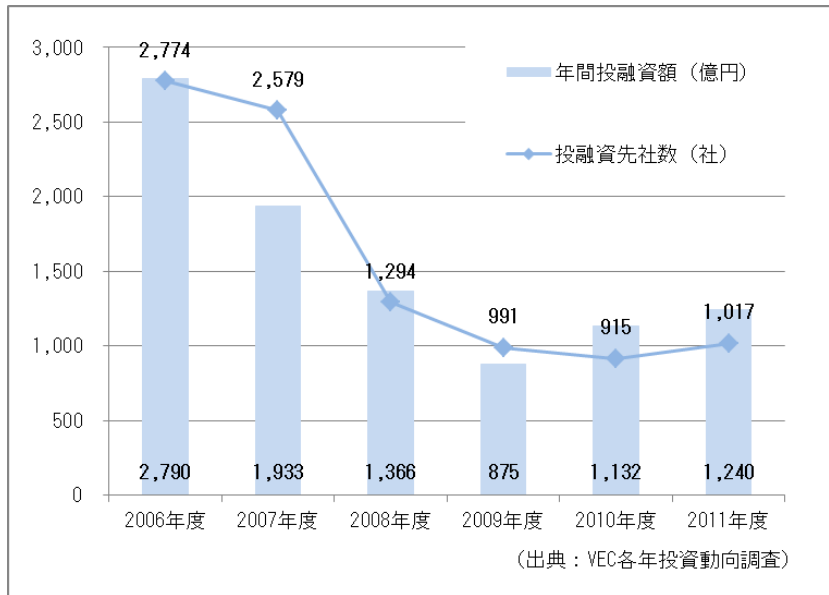
新規設立ファンドについてみると、設立ファンド総額が1,197億円、設立ファンド数が31本となり前年度と比較するとそれぞれ倍以上となり、本数についてはリーマンショックが発生した2008年度を上回る結果となった。要因としてはアジア向けの投資ファンド組成、独立行政法人中小企業基盤整備機構からの出資、東日本大震災からの産業の復興・創出・活性化を目指すファンド等が起因していると推測される。(図表2)

しかしながら、2011年度に期間満了を迎えたファンドの合計金額は1,857億円に達しており、これに見合う金額のファンドは組成されておらず、一般的にはファンド組成環境は厳しいようである。

投融資先の業種およびステージを見ると、投資先社数はIT関連分野が最多であるが、投資金額比率はここ数年減少傾向(2011年度調査結果:2010年度31.7%→2011年度22.8%)である。ステージ全体で見るとシード/アーリーステージへの投資が44.3%を占めた。(図表3、4)

アメリカにおけるベンチャー投資を見ると、2010年比23%増の287億ドル(約2兆2,890億円)に達し、日本の2011年度の18.5倍に達している。ファンド組成においては、2011年新規設立ファンド総額は2010年比35.5%増の187億ドル(約1兆4,920億円)、設立本数が173本となっており、順調に回復しているように見受けられる。(図表5、6)

図表 1 年間投融資額の推移



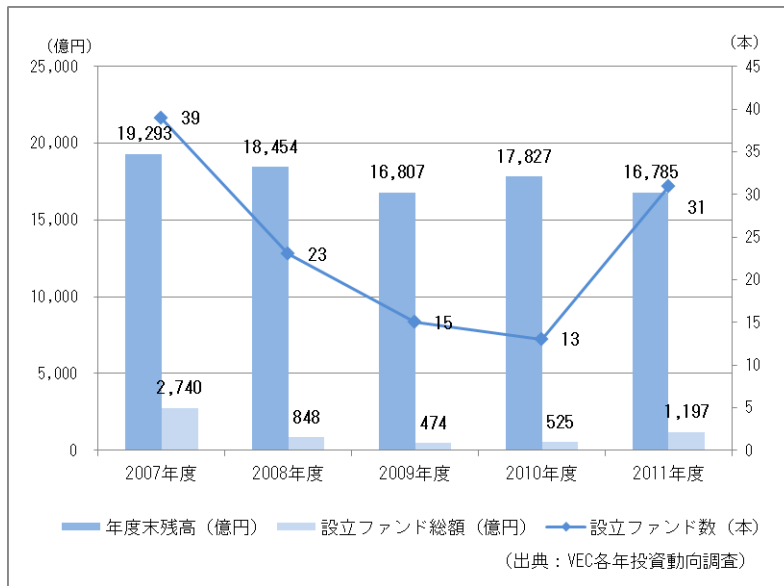
(注) グラフ中の数値は各年調査の単純集計による

(参考)

	投融資金額 (億円)	社数 (社)
2006年度	2,790	2,774
2007年度	1,933	2,579
2008年度	1,366	1,294
2009年度	875	991
2010年度	1,132	915
2011年度	1,240	1,017

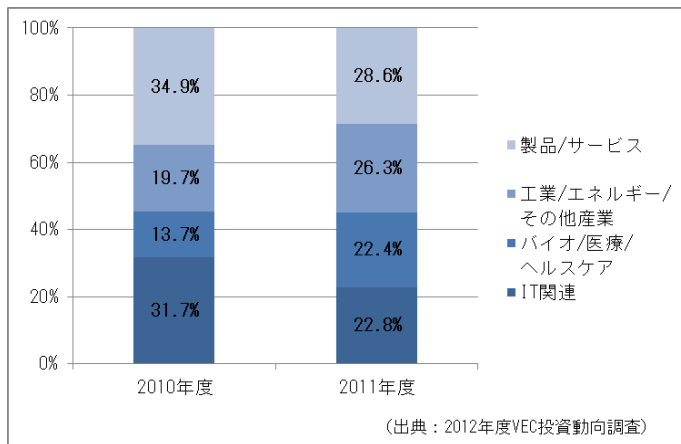
(注1) 投融資額、社数はVEC各年投資動向調査の単純合計による

図表2 ファンド総額、ファンド組成数、ファンド組成金額の推移



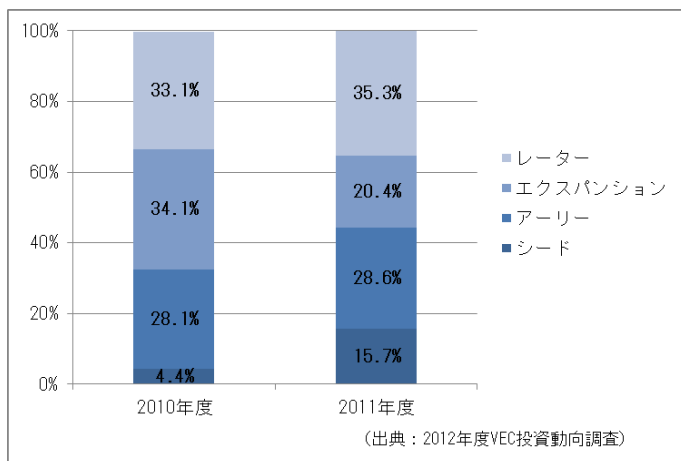
(注) グラフ中の数値は各年調査の単純集計による

図表3 新規および追加投資先金額の業種別構成比の変化 (金額比率)



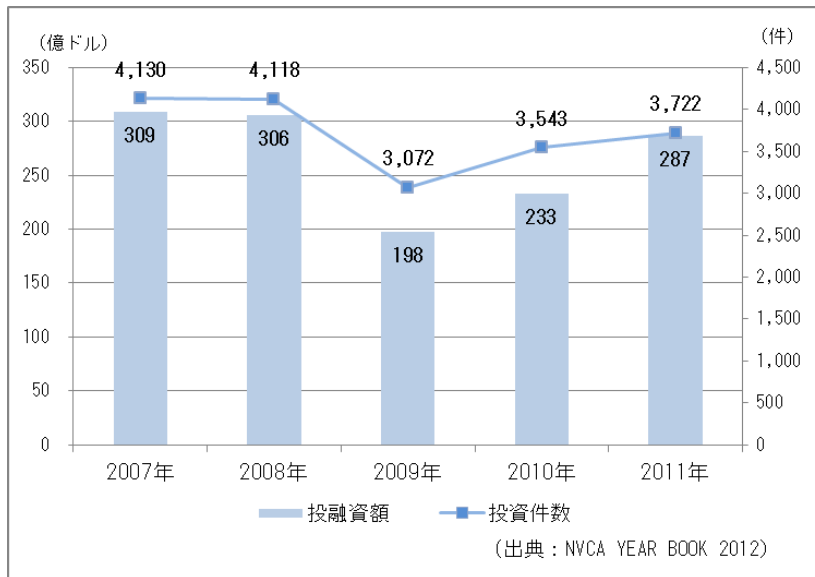
(注) 当年と前年の2期とも回答している会社をサンプルとして集計

図表4 新規および追加投資先のステージ分布の変化 (金額比率)



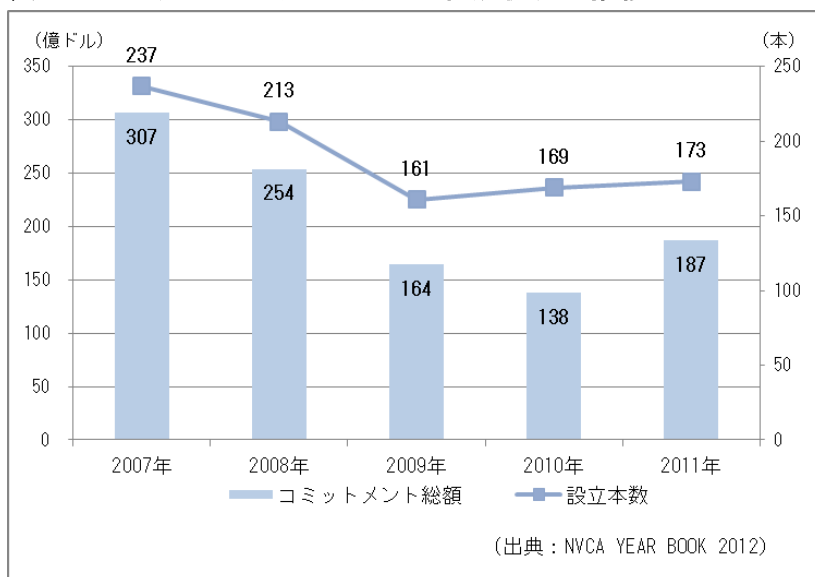
(注) 当年と前年の2期とも回答している会社をサンプルとして集計

図表5 アメリカにおける年間投融資額の推移



(注) 暦年 (1月~12月)

図表6 アメリカにおけるファンド組成状況の推移



(注) 暦年 (1月~12月)